

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

熱狂魂を燃やして

校長 小山 裕之

「僕達、杉中生一同は、日頃の練習の成果を発揮し、共に汗を流した仲間と、一致団結し、優勝という1つの目標に向かって、正々堂々戦い抜くこと、誇り高き杉戸中の燃える体育祭を大成功させることを、誓います。」

体育委員長さん、副委員長さんの力強い宣誓の声が校庭に響き渡り、5月17日（金）令和6年度の杉中体育祭が始まりました。本年度の体育祭スローガンは「万里一空～燃やせ熱狂魂～」です。「万里一空」とは、宮本武蔵が長年の修行で到達した精神的境地を表す言葉だと言われています。「ひと



つの目標に向かって努力し続けること」「やるべきことを見失わずに頑張る続けること」という意味があるそうです。生徒はこの日を迎えるまで、雨でグラウンドが使えない日もある中、授業や昼休み等に一生懸命練習を重ねました。そして、本年度は「夢 Dream」「勝 Victory」「祭 Fever」の3つの学年縦割りチームに分かれ、クラスやチームの仲間と力を合わせて、優勝を目指しました。



最終種目の「みんなでジャンプ」開始前には、各学年の主任から選手たちへ、熱いエールが送られました。その期待に応えるかのように、選手は互いの健闘を誓い合い、全身全霊を注いで縄を回し、皆で跳び続けました。力を出し切って喜びを爆発させたクラスがあれば、悔しさに唇を噛む姿も見られましたが、競技後には互いの健闘を、拍手で爽やかに讃え合う生徒たちでした。



「さようなら。」「さようなら。気を付けてね！」5月10日（金）の下校時には、明るい挨拶を交わしながら、職員による交通安全指導を行いました。本校は通学区域が広く、300名近い生徒が自転車通学をしています。そこで本年度は、交通安全の意識を一層啓発するため、定期テスト前の部活動停止期間を活用し、計14回の下校指導を計画しました。

交通マナーの約束は、①「左側一列走行」②「ゆっくり安全運転」③「ヘルメット（あご紐）着用」④「停まって友達を待たない」の4つです。場所は、日頃の校門前に加え、「カインズ歩道橋」「フレッシュタウン出口」「とねり踏切」「農村センター前」「東丁張歩道橋」の計6か所で、来年2月25日（火）までを予定しています。交通ルールやマナーを意識した安全な登下校については、御家庭でも是非、話題にしていただければ幸いです。

昇降口の傍らで、紫陽花が白い小さな花を咲かせました。校舎の陰で、人知れず凛として咲く姿は、自ら輝きを放っているように見えました。